

八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム

＜プログラム③母性看護コース＞

＜八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム教育目標＞

1. 患者・家族の意思決定支援ができる看護師の育成
2. 自分の行う看護に根拠をもち、自律して行動できる看護師の育成
3. 患者の退院後の生活をイメージし、生活のアセスメントと個別性に合わせて援助できる看護師の育成
4. 患者が住む地域の状況を理解して生活を支えることのできる看護師の育成
5. 地域のニーズを踏まえて自分のキャリアを組み立てられる看護師の育成
6. 広域地域に貢献できる看護師の育成

＜母性看護コースの教育目標＞

1. 妊娠期（子宮の中で胎児を育てる期間）、分娩期（胎児を出産する期間）産褥期（妊娠や出産により変化した心身の状態が妊娠前の状態に回復する期間）、乳幼児期（うまれてから小学校入学までの期間）の助産ケアが実践できる助産師の育成
2. 妊産婦（妊娠中または出産後 1 年以内の女子）と家族の意思決定支援ができる助産師
3. 母子保健（母子の健康を守り、より良い状態にする取り組み）における地域のニーズをふまえて、広域地域に貢献できる助産師の育成

	高度周産期	一般周産期	慢性期
施設	八戸市立市民病院 周産期センター病棟・外来、GCU・NICU	五戸総合病院、（八戸赤十字病院）	三戸中央病院、（八戸市総合保健センター）
期間	3 年	1 年	2 年
ねらい	①妊娠、分娩、産後の母と、新生児（うまれてから 28 日未満の赤ちゃん）の標準的な助産ケアを実践できる ②多職種と連携して、合併症のある妊産婦や産後の母への助産ケアを実践できる ③地域周産期母子医療センターの役割と機能を理解できる	①妊娠、分娩、産後の母と新生児の状態や状況に応じて、多職種と連携して必要な支援を継続できる ②地域におけるクリニックの機能・役割を理解できる	①地域で生活する多様なニーズのある母子を支援することができる ②地域で取り組んでいる女性の健康や母子保健事業について理解できる ③女性の生涯にわたる健康支援を実践できる
到達目標	①基本的看護技術、助産実践のために必要な知識と技術を習得し実践できる ②合併症のある妊娠、分娩、産後の母と新生児の病態と看護を理解し、助産ケアを実践できる ③社会的な支援が必要な場合、多職種や地域と連携し、助言を得て支援を継続できる ④院内助産* ¹ の業務内容を理解できる ⑤産後ケア事業について理解できる	①地域で生活する母子の多様な状況に応じた助産ケアを実践できる ②妊娠、分娩、産後の母や家族とともに目標を考え、ニーズに応じた助産ケアを実践できる ③疾患の悪化を早期に発見し、対処できる	①地域における助産師の役割を理解することができる ②地域の行政、社会資源について理解することができる ③産前産後サポート事業* ² など、地域における母子保健支援の実践を学び、実践できる ④女性のライフステージに応じた健康教育や健康相談、保健指導を実施できる
方法	①配置は周産期センター病棟とするが、周産期センター外来の助産ケア（産後ケアも含む）も実践する ②八戸市立市民病院看護局キャリアラダーに沿って研修を受講する ③助産師ラダーに沿って研修を受講する。 ④2 年目にほほえみ SUN として関わる ⑤ラダーに沿ったレポートの作成	①妊娠、分娩、産後の母や家族とともに目標を考え、助産ケアを実践したケースレポートを作成する。 ②妊婦健診や婦人科検診、健康相談を担当し、女性のライフステージに応じたケアを実践する。 ③患者が生活する地域の特徴を学ぶ ④キャリアプランを考える	①母子保健や女性支援に関わる部署で勤務する ②継続支援が必要な母子に、多職種で取り組んだケースレポートを作成する ③妊産婦相談や新生児訪問* ³ 、両親学級* ⁴ を実施する。 ④不妊相談や思春期の女性への相談、指導について学び、助言を得て実践できる ⑤キャリアプランを作成する
評価	①新人看護師、新人助産師技術チェックリスト ②キャリアラダーⅠ・Ⅱの申請・認定 ③助産師ラダー新人・Ⅰの申請・認定 ④人事評価（能力・業績）と面接	①ケースレポートの評価 ②人事評価（能力・業績）と面談	①ケースレポートの評価 ②キャリアプランの具体性や方向性へのフィードバック(各病院の教育担当者) ③キャリアラダーⅢ申請(八戸市立市民病院) ④助産師ラダーⅡ申請 ⑤人事評価（能力・業績）と面談
備考	本人の希望により八戸市立市民病院での研修を受講することもできる		

- * 1 院内助産：緊急時の対応が可能な医療機関において、助産師が妊産婦とその家族の意向を尊重しながら、妊娠から産褥 1 ヶ月まで正常、異常の判断を行い、助産ケアを提供する体制
- * 2 産前産後サポート事業：市町村が実施主体となり、妊娠・出産・子育てに関する悩み等に対して、母子保健推進員等の母子に係わる地域の人的資源や、研修を受けた子育て経験者・シニア世代の者、保健師、助産師、保育士等の専門職等が、不安や悩みを傾聴し、相談支援を行う事業
- * 3 新生児訪問：産後安心して生活できるように、助産師や保健師などが、赤ちゃんのいる家庭を訪問し、健康状態の確認や育児の相談に応じ支援する
- * 4 両親学級：お母さん、お父さんになる方が妊娠中の生活から出産・育児について学ぶ場